

## 社会経済(人口・経済)の見通しについて(H19.8.1 現在, 暫定値<sup>1</sup>)

### 1 人口の見通しについて

#### (1) 推計の手法

- ・ 「コーホート要因法」<sup>2</sup>を用い推計

#### (2) 推計を行う指標 …… 具体の推計値については、**別紙2-1** のとおり

##### ① 総人口及び年齢構造別人口

⇒ 社会経済動向の把握のため

##### ② 世帯人員数及び世帯数

⇒ 市民生活の最も基礎的な単位である世帯動向の把握のため

##### ③ 昼間人口

⇒ 地方中核都市として中枢性等の動向把握のため

### 2 経済の見通しについて

#### (1) 推計の手法

- ・ 「1」により推計した人口の見通しをベースとし、地域特性を考慮し、本市の経済情勢を推計

#### (2) 推計を行う指標 …… 具体の推計値については、**別紙2-1** のとおり

##### ① 市内総生産及び市民所得

⇒ 民間の経済活動や経済面における市民生活の動向把握のため

##### ② 就業人口

⇒ 産業基盤の構造の把握のため

<sup>1</sup> 人口推計については、10月1日時点の数値を把握したうえで、最終的な推計値を設定する(人口推計に連動した指標も同様)。また、世帯人員数及び世帯数については、今後、国立社会保障・人口問題研究所の最新の推計値を把握したうえで、最終的な推計値を設定する。

<sup>2</sup> コーホート要因法とは、コーホート(同年または同期間に出生した集団)ごとの時間変化を軸に人口の変化を捉える方法。分かりやすさや論理性に優れた最も基本的な手法として、国立社会保障・人口問題研究所や各自治体の人口推計などに広く用いられており、本市における過去の推計や、県、他市との比較が容易

【 各項目別の動向 】

項 目	動 向
<b>人口の見通し</b>	
総人口	<p>【 基準年度の平成 19(2007)年→人口ピークの平成 27(2015)年→基本構想目標年次の平成 34(2022)年の推移 】</p> <p>○宇都宮の総人口(平成 19(2007)年:約 50 万 6 千人)は、国・県が既に人口減少に転じているなかで、本市では緩やかに増加</p> <p>○平成 27(2015)年に約 51 万 1 千人でピークに</p> <p>○その後、緩やかであるが人口減少傾向(平成 34(2022)年:約 50 万 5 千人)に(国・県と比較し、なだらかな減少率)</p>
年齢構造別人口	<p>【 平成 19(2007)年→平成 34(2022)年の推移 】</p> <p>○ほぼ 4 人に 1 人が高齢者の社会へ (老年人口:18.2%→25.6%)</p> <p>○少子化傾向も一層顕著に (年少人口:14.3%→12.0%)</p> <p>○支える世代が一層減少 (生産年齢人口:67.5%→62.3%)</p>
世帯数	<p>【 平成 19(2007)年→平成 32(2020)年の推移 】</p> <p>○約 19 万 9 千世帯→約 20 万 7 千世帯</p>
世帯人員数	<p>【 平成 19(2007)年→平成 32(2020)年の推移 】</p> <p>○家庭や地域の支え合いの希薄化が懸念される (2.54 人→2.45 人)</p>
昼間人口	<p>【 平成 19(2007)年→平成 27(2015)年→平成 34(2022)年の推移 】</p> <p>○周辺自治体を含めた広域的な圏域での中心性を維持 (53.5 万人→53.9 万人→53.2 万人)</p>
<b>経済の見通し</b>	
市内総生産	<p>【 平成 19(2007)年→平成 27(2015)年→平成 34(2022)年の推移 】</p> <p>○平成 19(2007)年に約 2 兆 4,550 億円。平成 27(2015)年に約 2 兆 6,820 億円でピークとなり、平成 34(2022)年には約 2 兆 5,630 億円に (経済成長率(年平均):H19-27 で 1.11%, H27-34 で▲0.65%, 全体では年平均 0.29%で推移)</p>
市民所得	<p>【 平成 19(2007)年→平成 34(2022)年の推移 】</p> <p>○一人あたりの市民所得は、平成 19(2007)年に約 352 万円。平成 27(2015)年に約 378 万円でピークとなり、平成 34(2022)年には約 362 万円に</p>
就業人口	<p>【 平成 19(2007)年→平成 34(2022)年の推移 】</p> <p>○生産年齢人口の減少に伴い、就業人口は減少の見込み</p> <p>○第 1 次産業、第 2 次産業の構成比が微減、第 3 次産業は微増</p>